

「3ゲーム×15点制」の扱いについて

平素から本連盟の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。標記に関しまして、4月25日開催のBWF総会承認を受け、4月30日にBAJにて対応方針が決定されました。その内容を報告すると共に、適応外関東連盟主催大会の対応について、関東連盟として協議し下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。加盟団体におかれましては趣旨ご理解の上、ご対応くださいますようお願い申し上げます。

<関東連盟決定内容>

- 関東連盟主催大会については準備が間に合う大会から「3ゲーム×15点制のスコアリングシステム」に移行する。
準備が間に合う大会の解釈としては、大会要項を公表していない大会を意味し、概ねの目安として国スポ関東ブロック大会以降大会とする。

<BAJ方針>

(1) 第1種大会への3ゲーム×15点制のスコアリングシステム導入時期をBWFの導入時期より早めます。その理由は、以下の通りです。

- ① 3ゲーム×15点制が導入される2027年からロサンゼルスオリンピック出場権獲得レースが始まることから、プレーヤーが3ゲーム×15点制に早く適応できるようにすること
- ② 現行の大会運営において、競技時間の短縮が全国共通の課題となっていること

(2) 2026年度の具体的な対応は以下の通りです。

- ① 全日本総合バドミントン選手権大会、全日本社会人バドミントン選手権大会、全日本シニアバドミントン選手権大会、全日本ジュニアバドミントン選手権大会、国民スポーツ大会バドミントン競技、日本スポーツマスターズバドミントン競技、S/JリーグⅠ・Ⅱ・Ⅲの各大会は3ゲーム×15点制で実施します。

- ② 全日本総合バドミントン選手権大会への出場権が獲得できる①以外の第1種大会（全日本学生バドミントン選手権大会、全日本教職員バドミントン選手権大会、全国高等学校バドミントン選手権大会、全国中学校バドミントン大会、各地区予選会）の該当種目は3ゲーム×15点制で実施します。

なお、2026年度の日本ランキングサーキット大会については、開催日までの準備期間が限られていること、また選手・関係者への事前周知および大会運営上の混乱を避ける観点から、現行の3ゲーム×21点制で実施します。

- ③ ①②以外の第1種大会のスコアリングシステムについては、主催加盟団体の判断に委ねます。

- ④ 2027年1月以降の第1種大会につきましては全て3ゲーム×15点制で実施します。

(3) 競技規則の改訂をお知らせするまでの間は、『BAJ ルールブック2026』PP.28-29記載の「代替スコアリングシステム 2. 1ゲーム15点で2ゲーム先取の3ゲームマッチ」を適用します。